

沖縄県	機関名	沖縄県
	部署名	商工労働部ものづくり振興課
	電話連絡先	098-866-2337
事業名	工芸品販売促進支援補助金	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
1 目的	地域の魅力的な文化資源等を活用し、魅力的なものづくり及び販路拡大を推進することにより、県内工芸産業の活性化を図る。	
2 概要	流通事業者または県内工芸事業者グループが実施する工芸品の販売強化、新規販路開拓等に関する事業及びプロデューサー(バイヤー、デザイナー等含む)と県内工芸事業者が協働して実施する工芸製品の企画製造・改良を行う事業に要する経費の一部を補助する。	
3 補助対象者	<p>(1) 販売促進強化・販路拡大支援事業 ①県内工芸事業者5者以上、工芸品3ジャンル以上を県外・国外において販売する流通事業者 ②県内工芸事業者5者以上、工芸品3ジャンル以上が合同で、県外・国外において販売する県内工芸事業者グループの代表者</p> <p>(2) 商品プロデュース支援事業 補助事業終了後の販路を有しているプロデューサー(バイヤー、デザイナー等含む)と県内工芸事業者が協働で工芸品の企画製造・改良を行う場合における、当該プロデューサーまたは県内工芸事業者のいずれか代表者</p>	
4 事業内容	<p>(1) 販売促進強化・販路拡大支援事業 主として、県外・国外における工芸フェアなど、工芸品の販売強化、新規販路開拓等を行うもの。工芸フェア・展示販売イベント開催、商談会参加、新しいチャネルでのテストマーケティング等。</p> <p>(2) 商品プロデュース支援事業 県内工芸事業者とプロデューサーが協働して商品製造・改良を行うもの。商品開発、テストマーケティング、販売促進等。補助事業終了後の販路が決まっている、あるいは見込まれていること、補助事業終了後5年間販売が継続されていることが必要。</p>	
5 補助対象経費	旅費、人件費(イベント対応)、専門家謝金、試作品開発費、出展料(販売面積除く)、広報費、装飾費・設営費、通信運搬費(販売商品除く)、調査費、印刷製本費、消耗品費等	
6 補助率	3分の2以内	
7 補助上限額	<p>(1) 販売促進強化・販路拡大支援事業 200万円</p> <p>(2) 商品プロデュース支援事業 100万円</p>	
8 令和4年度実績	11件	
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和4年度
		10 000 千円

沖縄県	機関名	沖縄県工芸振興センター		
	部署名	商工労働部		
	電話連絡先	098-987-0380		
事業名	セルフプロデュース力強化工芸研修事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
<p>＜事業概要＞</p> <p>本県の工芸事業者に対し、工芸技術以外のスキル（企画力、表現力、発信力など）の習得、市町村の枠を超えた俯瞰的で公益性のあるスキル（異業種交流、ネットワーク形成など）を習得させる「自己プロデュース力」を強化する人材育成事業を実施する。</p> <p>＜事業内容＞</p> <p>基礎研修と基礎研修を修了した者を主対象とした強化研修の二つの段階で構成。</p> <p>【基礎研修の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工芸のあり方について整理 ・開発企画するためのデザイン・マーケティング・プランディング概念 ・販売実践のための告知・販売・流通の基本 ・研修時期（初期、中期、後期）ごとの成果展開催による気づき確認 <p>【応用研修の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動計画（発信・販売の強化 目標づくり） ・発信力・販売力の分析とノウハウの体得 ・強化された提案力・発信力の実践 <p>＜対象者＞</p> <p>現在、県内で工芸産業へ従事し、新しい感性価値製品の創造を希望し、本研修修了後はその成果を生かした活動を計画している者。</p> <p>＜事業に関する情報が掲示されているサイト URL＞</p> <p>https://www.oki-kougeicenter.info/2022/04/27/ セルフプロデュース力強化工芸研修に係る研修生募集について</p>				
令和5年度実施予定		開始年度		
令和5年度も継続して実施予定		予算額 令和4年度 12 500 千円		

沖縄総合事務局	機関名 部署名 電話連絡先	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部商務通商課 098-866-1731
事業名	沖縄型産業中核人材育成事業「沖縄型デザイン+DX人材育成プログラム」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業の目的】

県産品を主軸とする沖縄ものづくり産業は総じて低い生産性が課題であり、その背景には小さい市場規模、弱いサプライチェーン、高い物流コスト、そのほとんどがスマールビジネスとなっている。今後、沖縄の景気回復を後押ししていくためには、薄利の“量を売る”ビジネスではなく、“付加価値の高い”商品づくりが必要となってくる。

一方で、市場が大きな転換期を迎えており、これまでの当たり前が通用しなくなり、「人口減少、嗜好の多様化、価値観の変化」「DX化=デジタルテクノロジーの進化とそれに伴う人々の行動変化」、さらには「新型コロナの影響による生活様式の変化」、「SDGs=持続可能な開発目標の具現化」など、県内、国内、世界規模で新たな潮流が見られる。このような潮流も含めてVUCA(不安定・不確実・複雑・曖昧)の時代と表現されるが、このような時代に生き残るためにには、ものづくり(製造業)の世界にもイノベーションが求められてくる。

本研修では、高いビジネスマインドを持ち、未来から逆算した予測を商品開発に生かして、ものづくり企業のパートナーとして「デザイン思考」を有効に發揮できる人材を育成する。また、説得力のあるビジネスリサーチや将来予測による仮説を検証するためにデジタルテクノロジーを活用し、企業と並走していく人材の育成を目標としている。

【事業概要】

「バーバス経営とデザインの理解」「新たな思考からとらえるデザイン」「ものづくりとデザインとDX」など全12回の講座を実施。

期間:令和4年9月～令和5年1月(全12回)

参加人数:定員25名

実施団体:専修学校インターナショナルデザインアカデミー

内閣府 沖縄型産業中核人材育成事業

「デザイン思考」+DX
で活躍するプロデューサーに学ぶ

沖縄型デザイン+DX人材育成プログラム

募集パートナーとして「デザイン思考」が発揮でき、ITを活用し変化するビジネス環境に対応するスキルを学びます。

研修参加者募集

募集期間 令和4年7月1日(金)～7月31日(日)

研修期間 令和4年9月～令和5年1月(全12回)

募集人数 25名 研修参加費 無料

お問い合わせ: 沖縄デザインスクールディレクター担当: 鈴木大輔 TEL: 098-842-8780 FAX: 098-842-8781 メールアドレス: kbcgroup.ac.jp/okinawa-design

沖縄型デザイン+DX人材育成プログラム

研修内容

- バーバス経営とデザインの理解
- 新たな進化からとらえるデザイン
- ものづくりとデザインとDX
- 地域の価値向上の取り組み事例
- ビジネスモデル構築スキル
- マーケティング
- 県内企業へのデザイン+DX提案
- プレゼンテーションスキル

昨年度の研修の様子

昨年度の講師実績紹介

応募条件

応募手順

お問い合わせ

お問い合わせ

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
令和4年度で事業終了	令和4年度	11 000 千円